

# 全国中小企業動向調査結果

(2019年10-12月期実績、2020年1-3月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

### 小企業の景況は、足元で一部に弱さがみられる

(前回)持ち直しの動きに足踏みがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲29.2となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲27.6となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲11.7となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲29.2(-3.2)	▲27.6(-6.3)	▲11.7(+0.6)	▲22.0(-3.0)	▲9.4(-0.3)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

### 中小企業の景況は、足元で弱さがみられる

(前回)回復の動きに足踏みがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲14.3となった。  
来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から低下し、▲12.0となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲13.2となった。  
来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲14.3(-11.4)	▲12.0(-12.4)	▲13.2(-6.8)	0.5(-3.0)	12.0(-0.6)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:星田、中谷)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:分須(わけす)、藤井)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

## 目次

調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### 【小企業編】

概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
調査の実施要領・・・・・・・・・・	4
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・	5
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
採算・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
資金繰り、借入・・・・・・・・・・	12
経営上の問題点・・・・・・・・・・	13
設備投資、価格動向・・・・・・・・	14

### 【中小企業編】

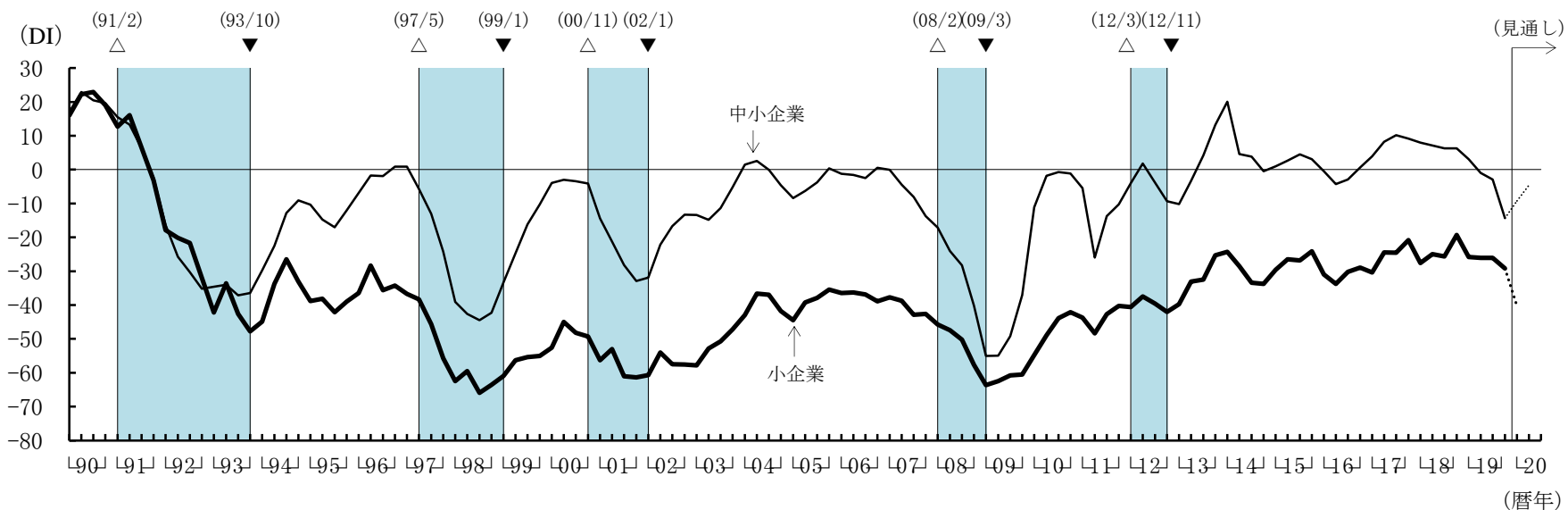
概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
調査の実施要領・・・・・・・・・・	16
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・	17
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
利益・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
価格、金融関連・・・・・・・・・・	22
雇用、設備・・・・・・・・・・・・・・・・	23
経営上の問題点・・・・・・・・・・	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

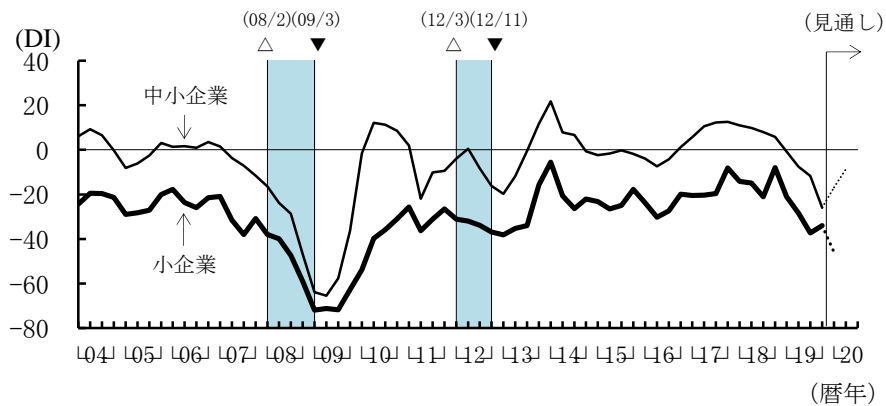
### ①全業種計

	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3 見通し	20.4-6 見通し
中小企業	9.1	8.0	7.1	6.3	6.3	3.1	▲0.9	▲2.9	▲14.3	▲9.2	▲4.6
小企業	▲20.8	▲27.6	▲24.9	▲25.6	▲19.3	▲25.8	▲26.0	▲26.0	▲29.2	▲40.2	-



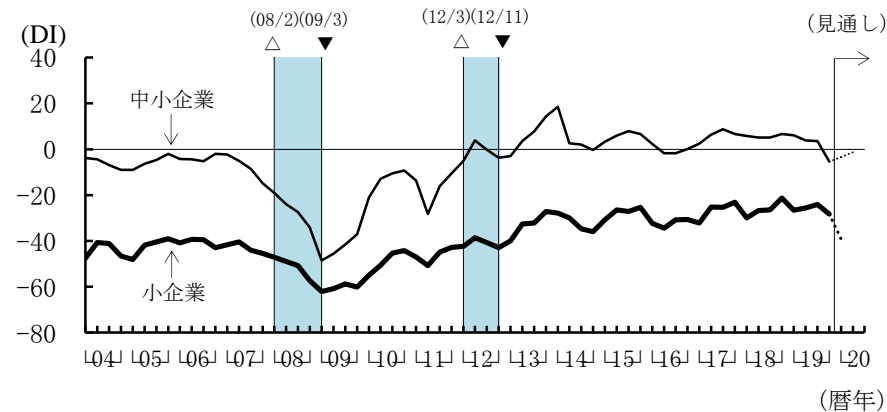
### ②製造業

	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3 見通し	20.4-6 見通し
中小企業	▲7.6	▲11.7	▲25.9	▲16.9	▲8.7
小企業	▲28.4	▲37.2	▲33.9	▲45.8	-



### ③非製造業

	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3 見通し	20.4-6 見通し
中小企業	3.8	3.6	▲5.4	▲3.5	▲1.3
小企業	▲25.6	▲24.1	▲28.4	▲39.2	-

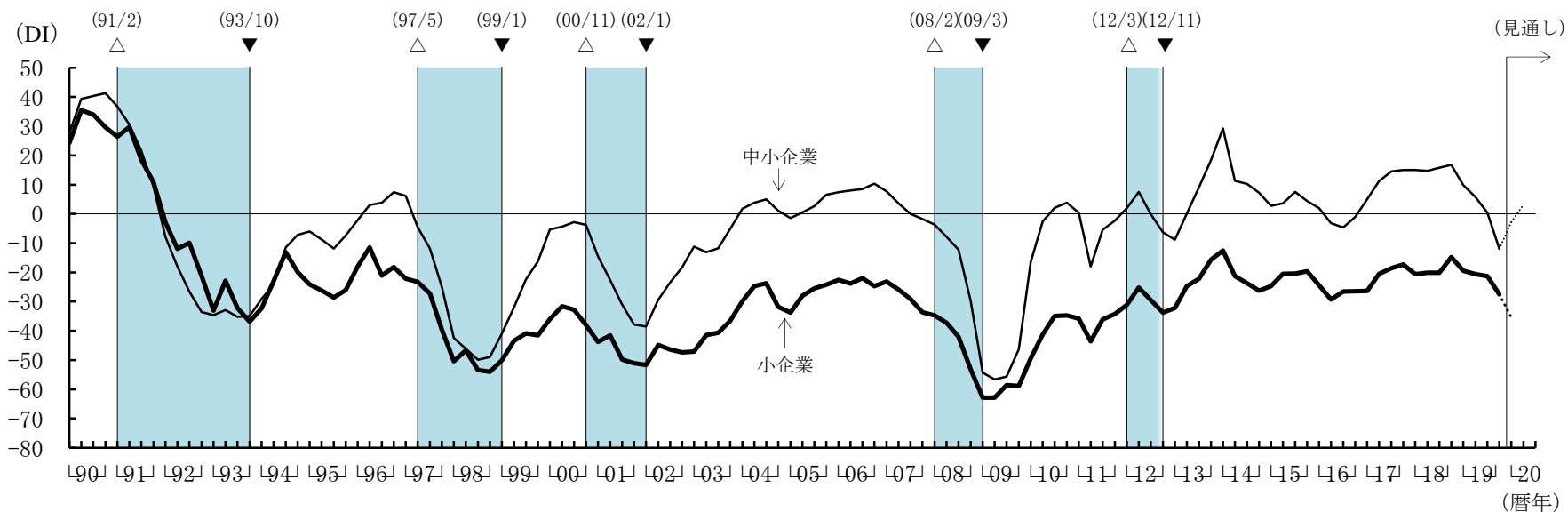


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

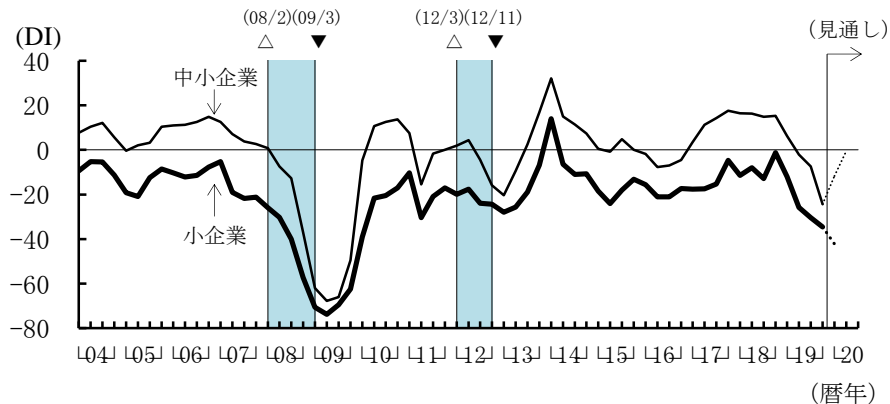
### ①全業種計

	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3 見通し	20.4-6 見通し
中小企業	15.1	15.0	14.7	15.8	16.7	9.9	5.8	0.4	▲ 12.0	▲ 2.8	3.1
小企業	▲ 17.3	▲ 20.6	▲ 20.1	▲ 20.1	▲ 14.8	▲ 19.4	▲ 20.6	▲ 21.3	▲ 27.6	▲ 35.4	-



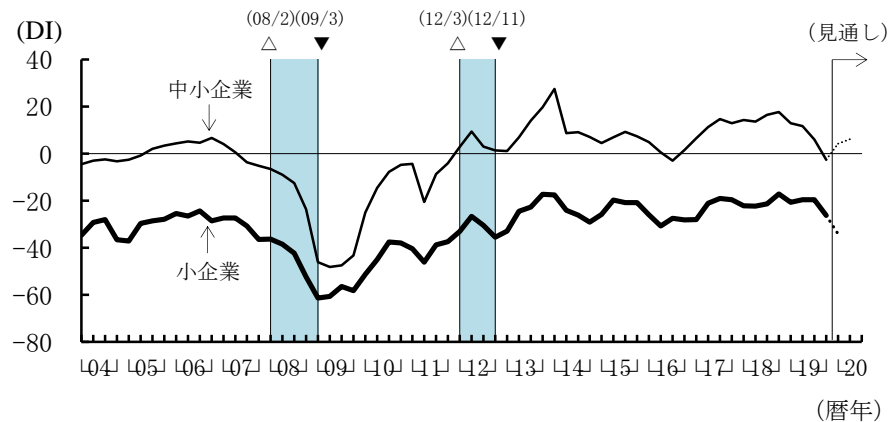
### ②製造業

	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3 見通し	20.4-6 見通し
中小企業	▲ 2.1	▲ 7.4	▲ 24.4	▲ 11.7	▲ 0.5
小企業	▲ 25.8	▲ 30.4	▲ 34.5	▲ 42.2	-



### ③非製造業

	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3 見通し	20.4-6 見通し
中小企業	11.7	5.9	▲ 2.7	4.2	6.1
小企業	▲ 19.7	▲ 19.7	▲ 26.3	▲ 34.2	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2019年10－12月期実績、2020年1－3月期見通し)

小企業の景況は、足元で一部に弱さがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2019年12月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先 10,000 企業
有 効 回 答 数	5,956 企業 [回答率 59.6 %]

### < 業 種 構 成 >

		調 査 対 象	有 効 回 答 数	
製 造 業	(従業員20人未満)	1,500 企業	925 企業	( 構 成 比 15.5 %)
卸 売 業	( 同 10人未満)	800 企業	550 企業	( 同 9.2 %)
小 売 業	( 同 10人未満)	2,450 企業	1,357 企業	( 同 22.8 %)
飲食店・宿泊業	( 同 10人未満)	1,800 企業	908 企業	( 同 15.2 %)
サ ー ビ ス 業	( 同 20人未満)	2,000 企業	1,248 企業	( 同 21.0 %)
情 報 通 信 業	( 同 20人未満)	160 企業	82 企業	( 同 1.4 %)
建 設 業	( 同 20人未満)	1,100 企業	749 企業	( 同 12.6 %)
運 輸 業	( 同 20人未満)	190 企業	137 企業	( 同 2.3 %)

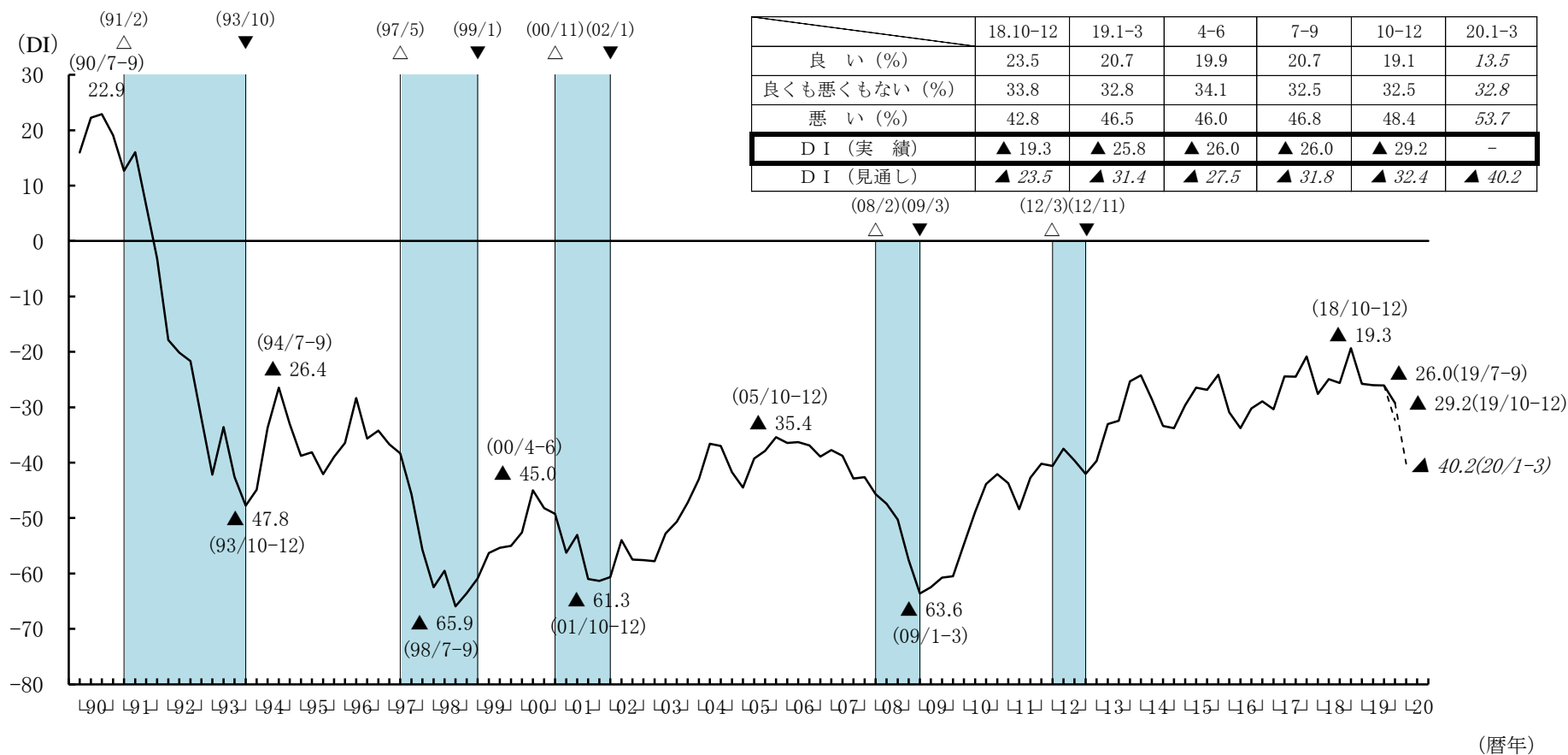
(参 考)

法 人	3,940 企業	( 構 成 比 66.2 %)
個 人	2,016 企業	( 同 33.8 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2019年7-9月期）からマイナス幅が3.2ポイント拡大し、▲29.2となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大し、▲40.2となる見通しである。

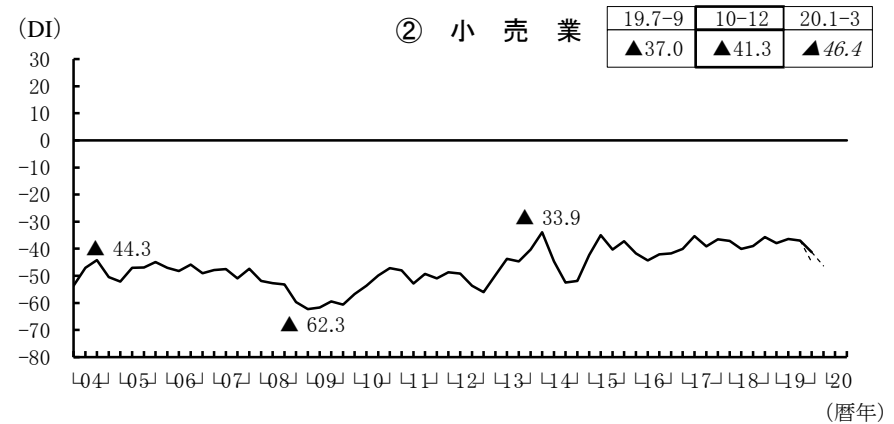
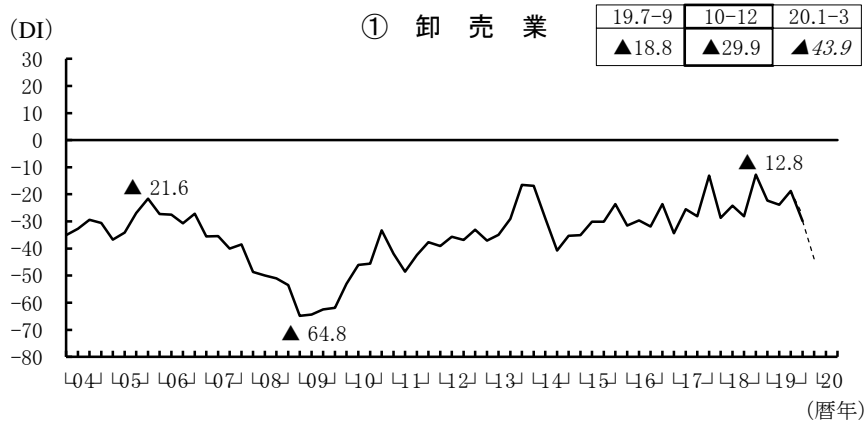
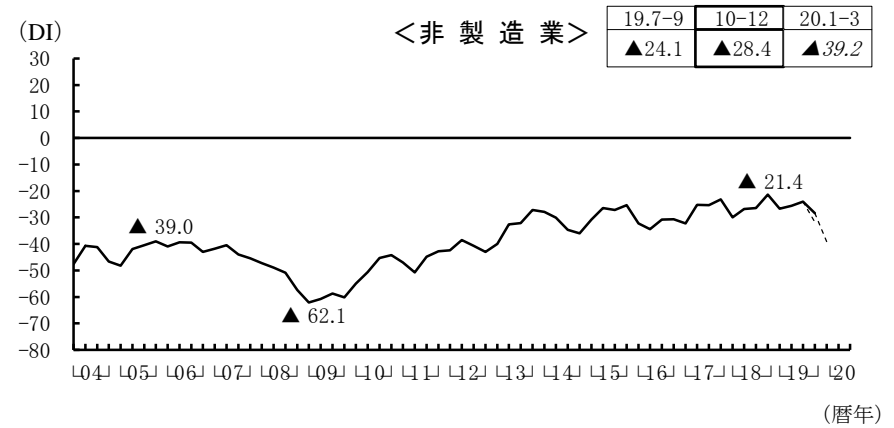
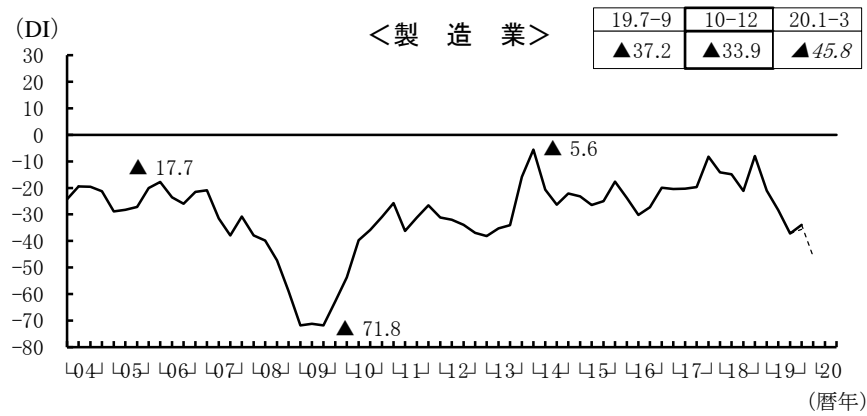
図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



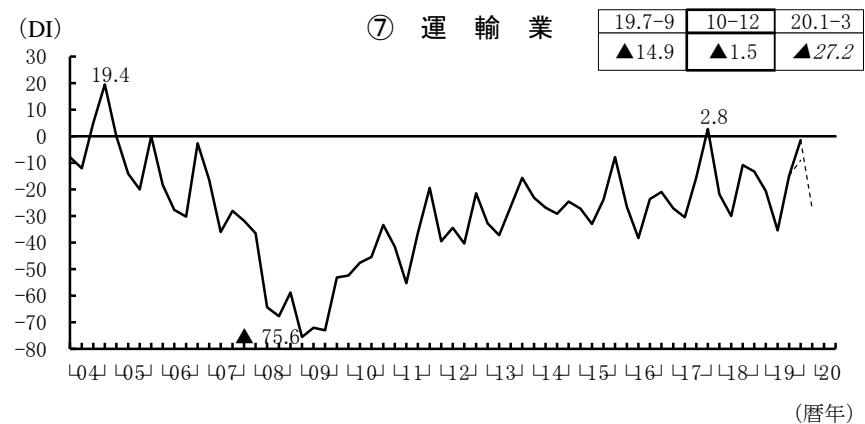
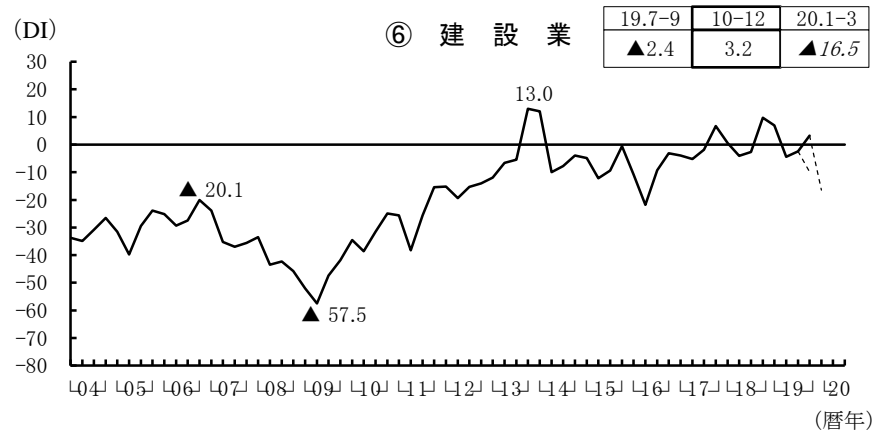
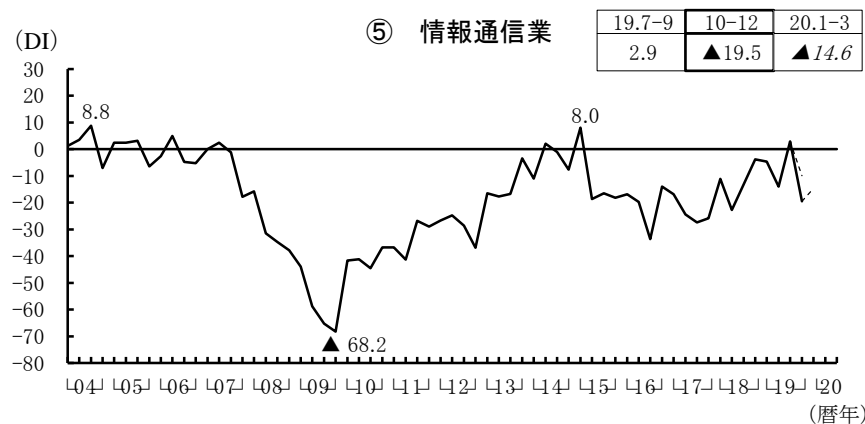
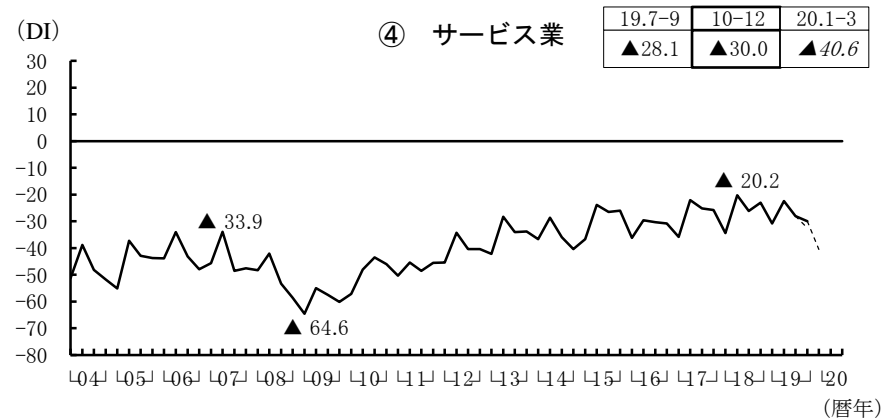
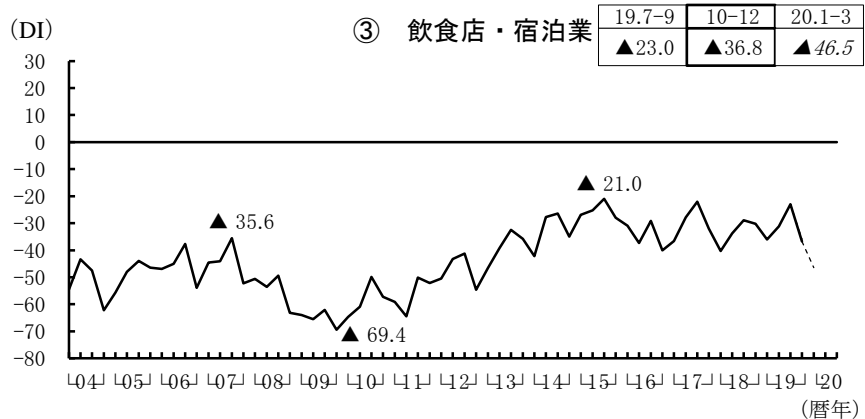
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲33.9）ではマイナス幅が縮小、非製造業（▲28.4）ではマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、建設業、運輸業を除く全ての業種で低下した。
- 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

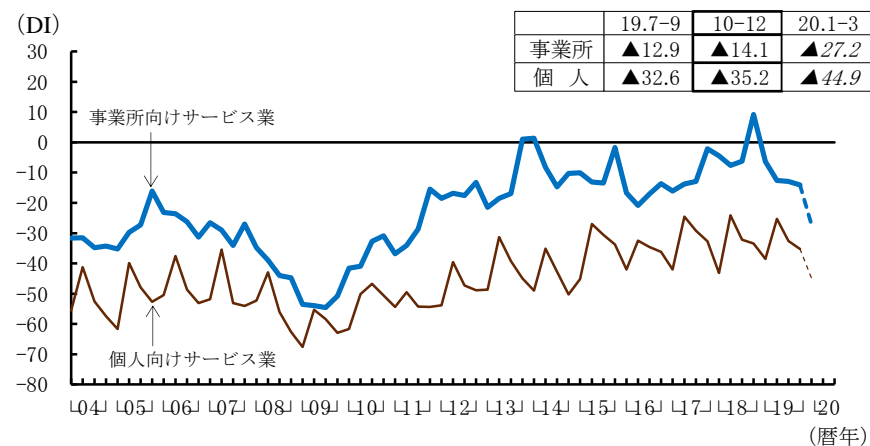
図－２ 業種別業況判断DIの推移





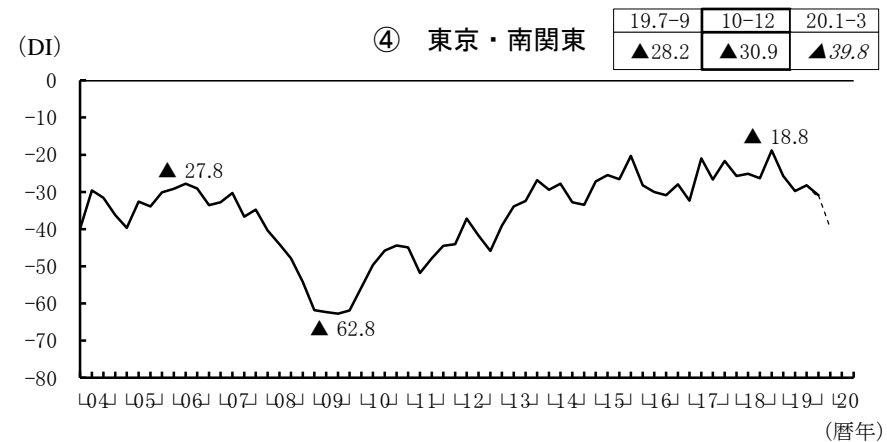
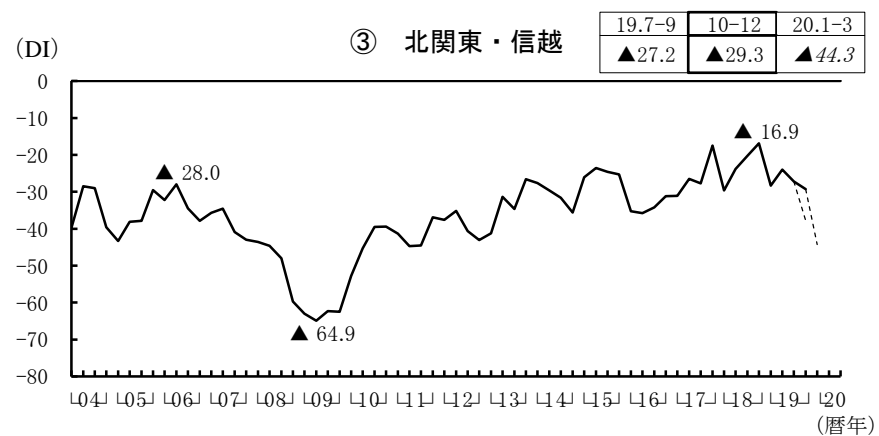
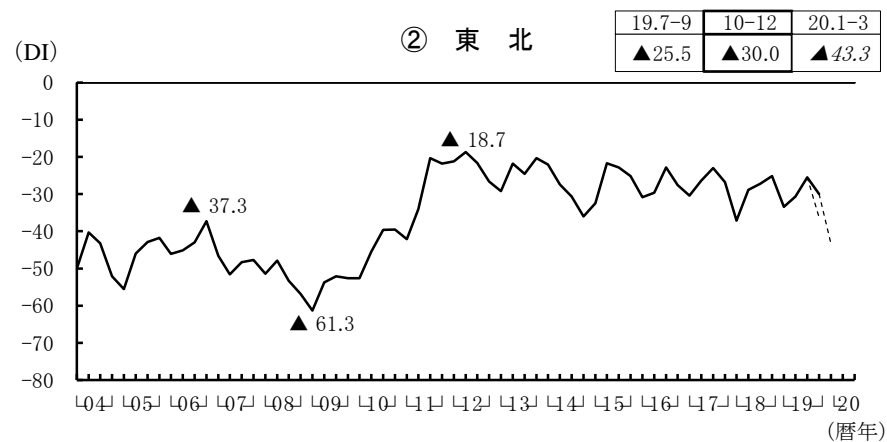
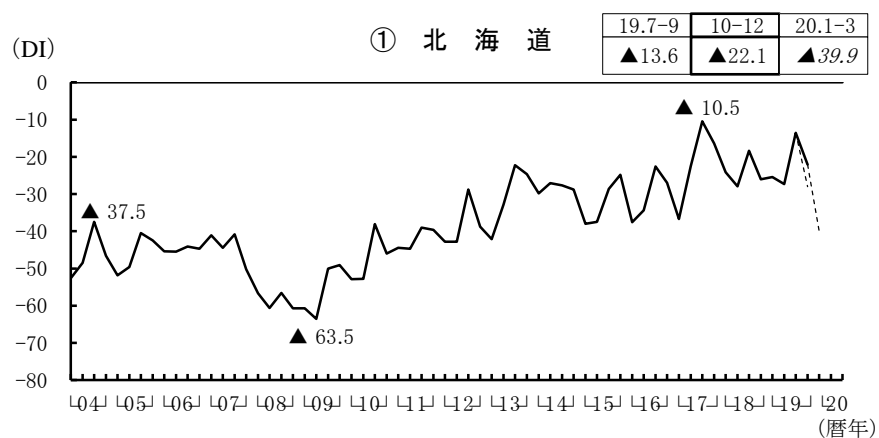


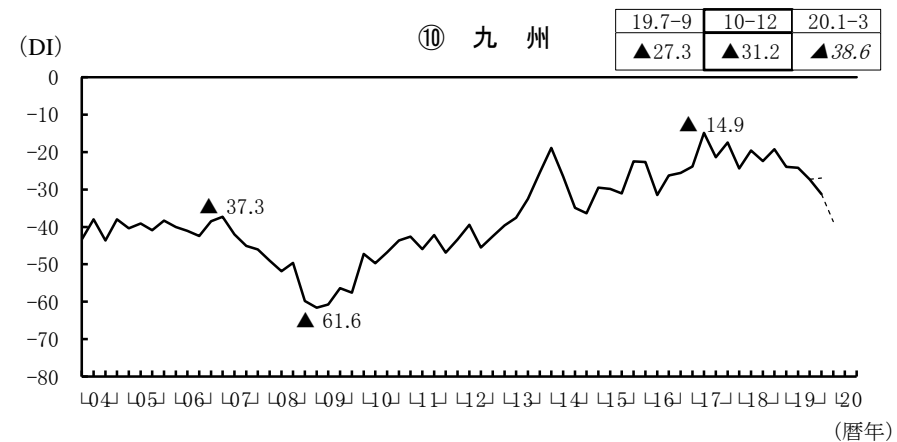
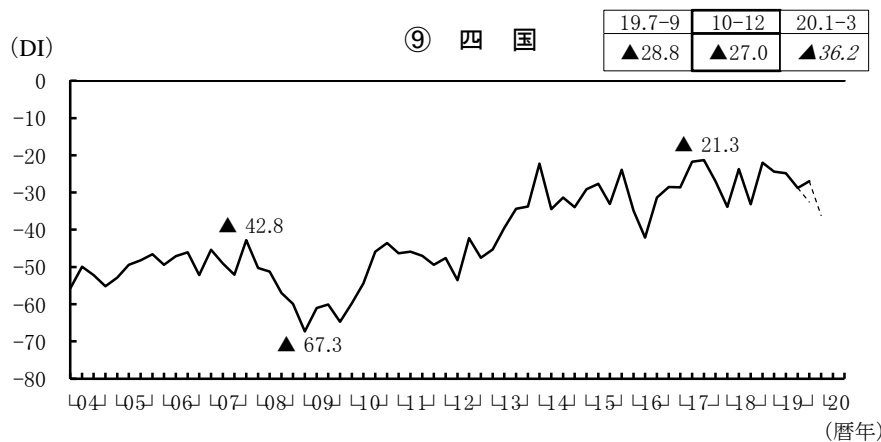
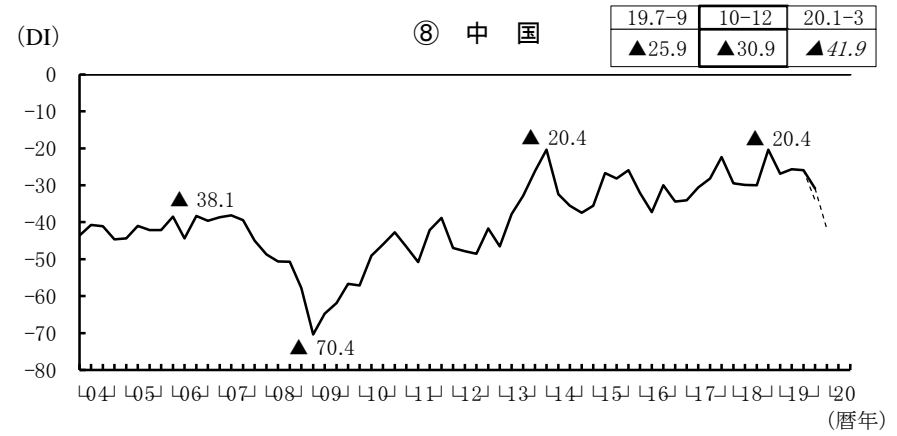
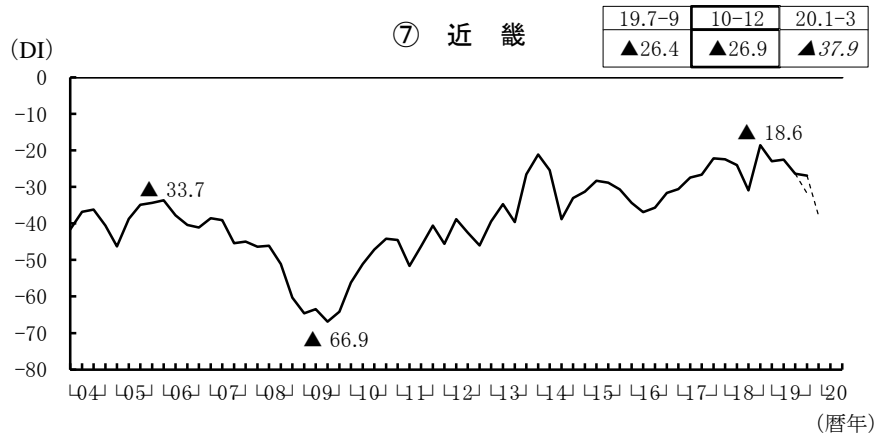
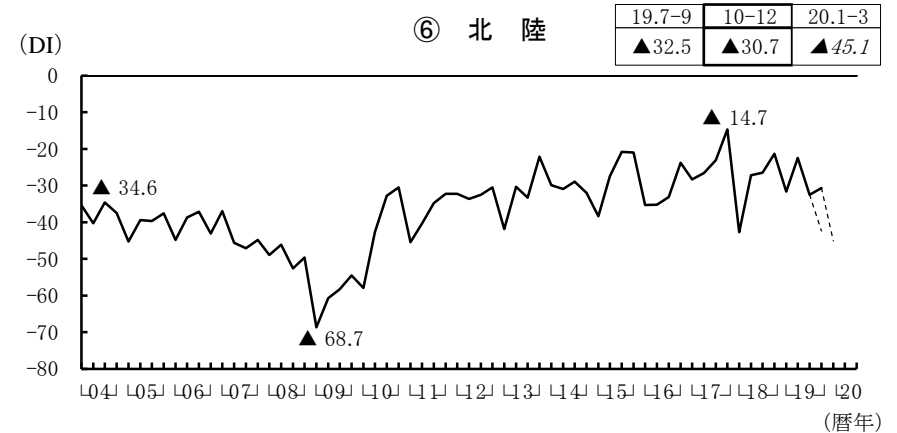
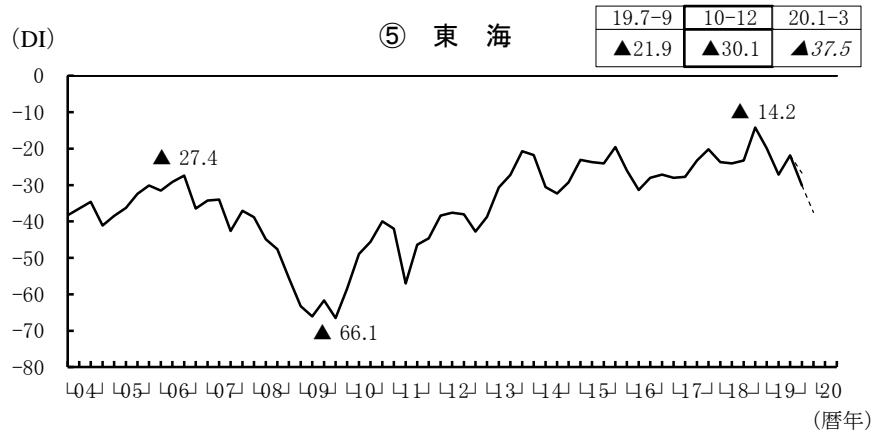
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、北陸、四国を除く全ての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、全ての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

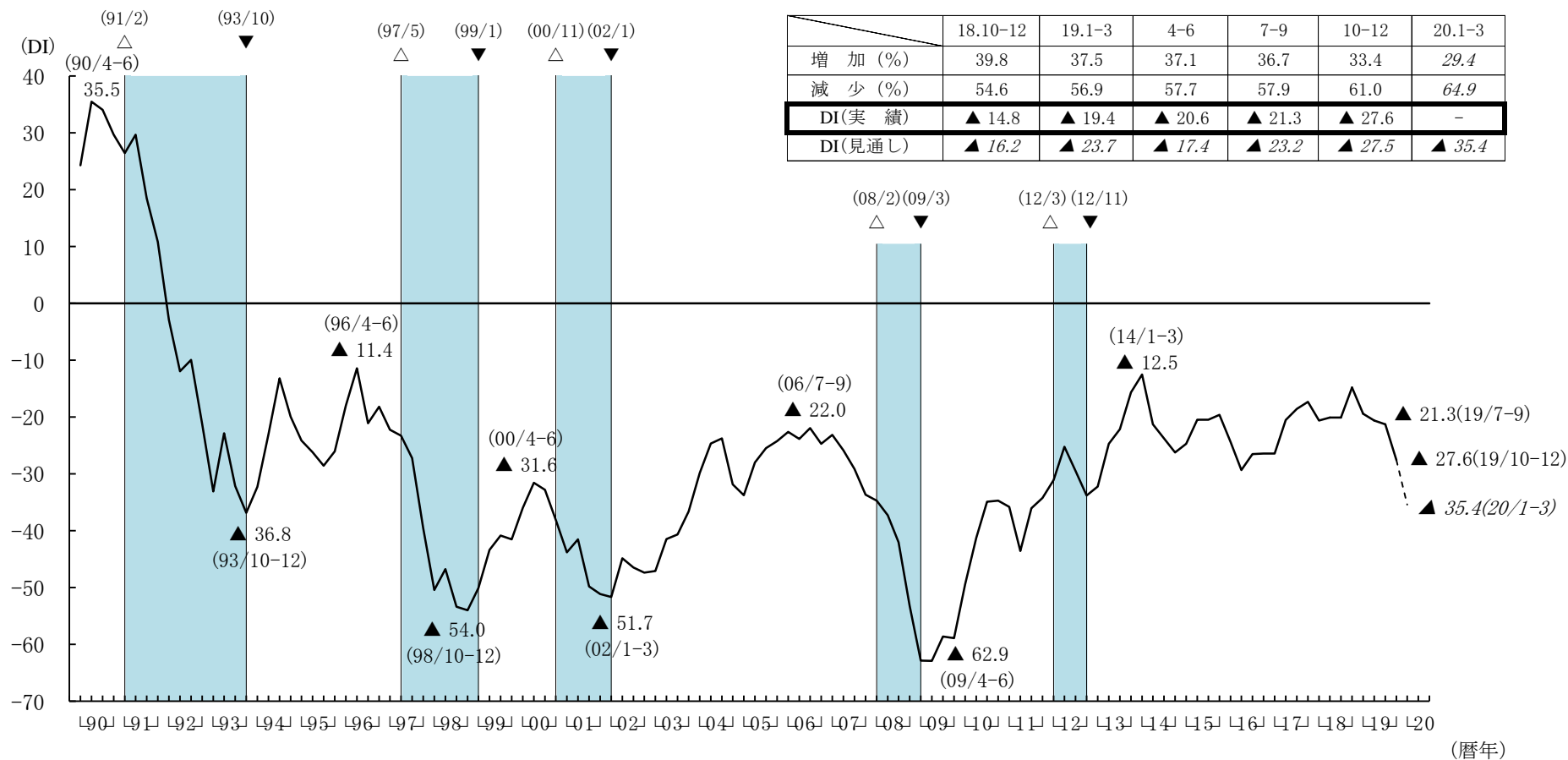




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が6.3ポイント拡大し、▲27.6となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



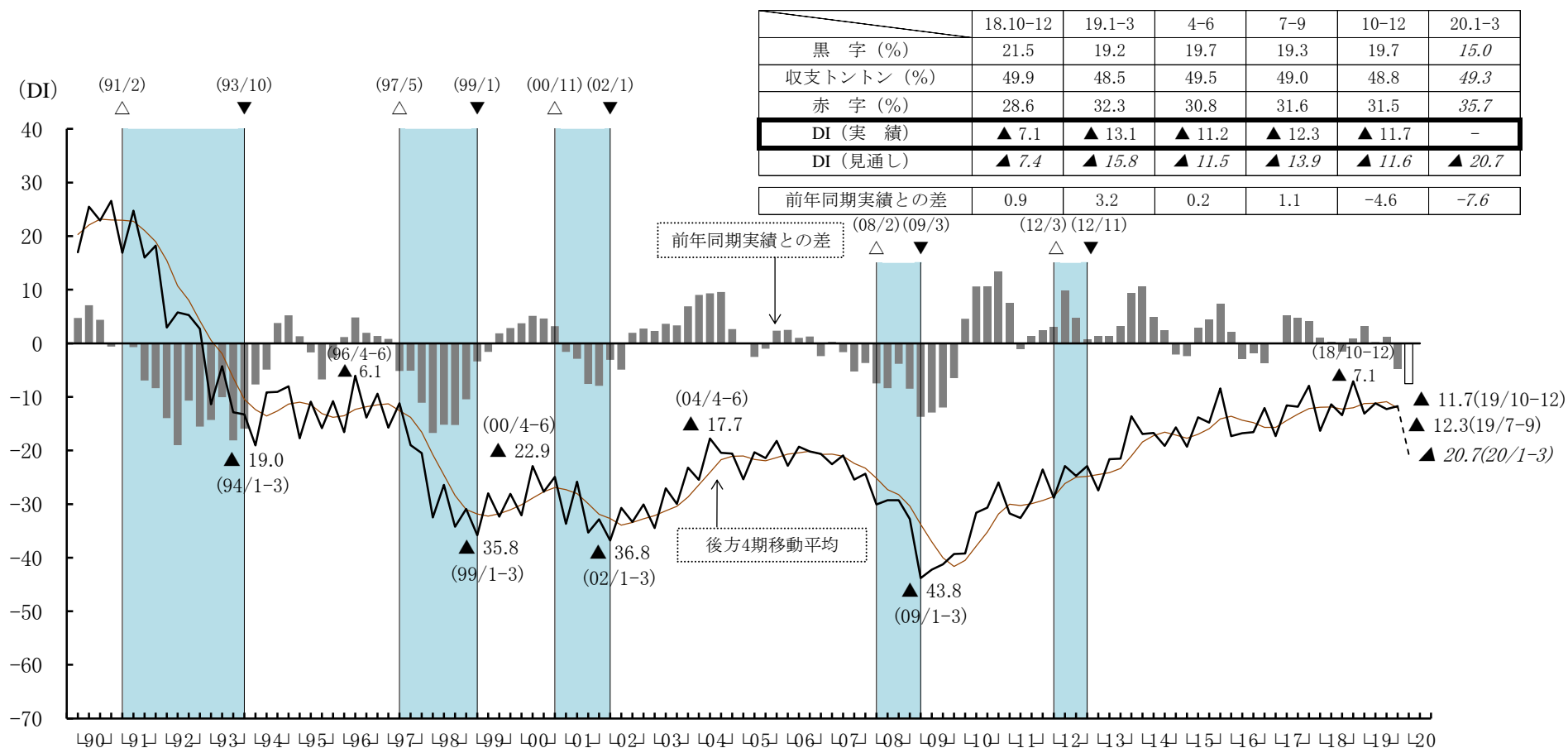
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が0.6ポイント縮小し、▲11.7となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－5 採算DIの推移（全業種計）

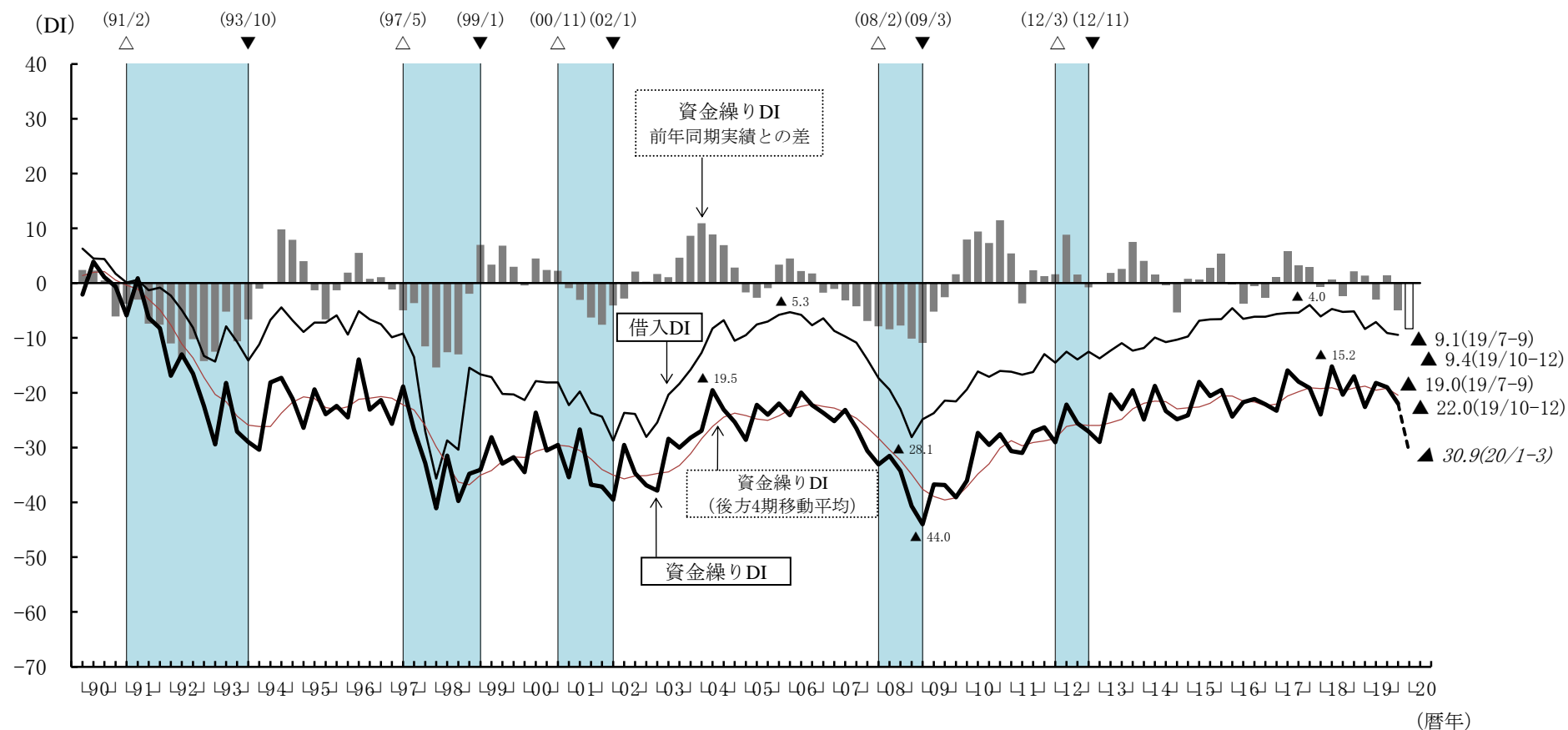


- (注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が3.0ポイント拡大し、▲22.0となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が0.3ポイント拡大し、▲9.4となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

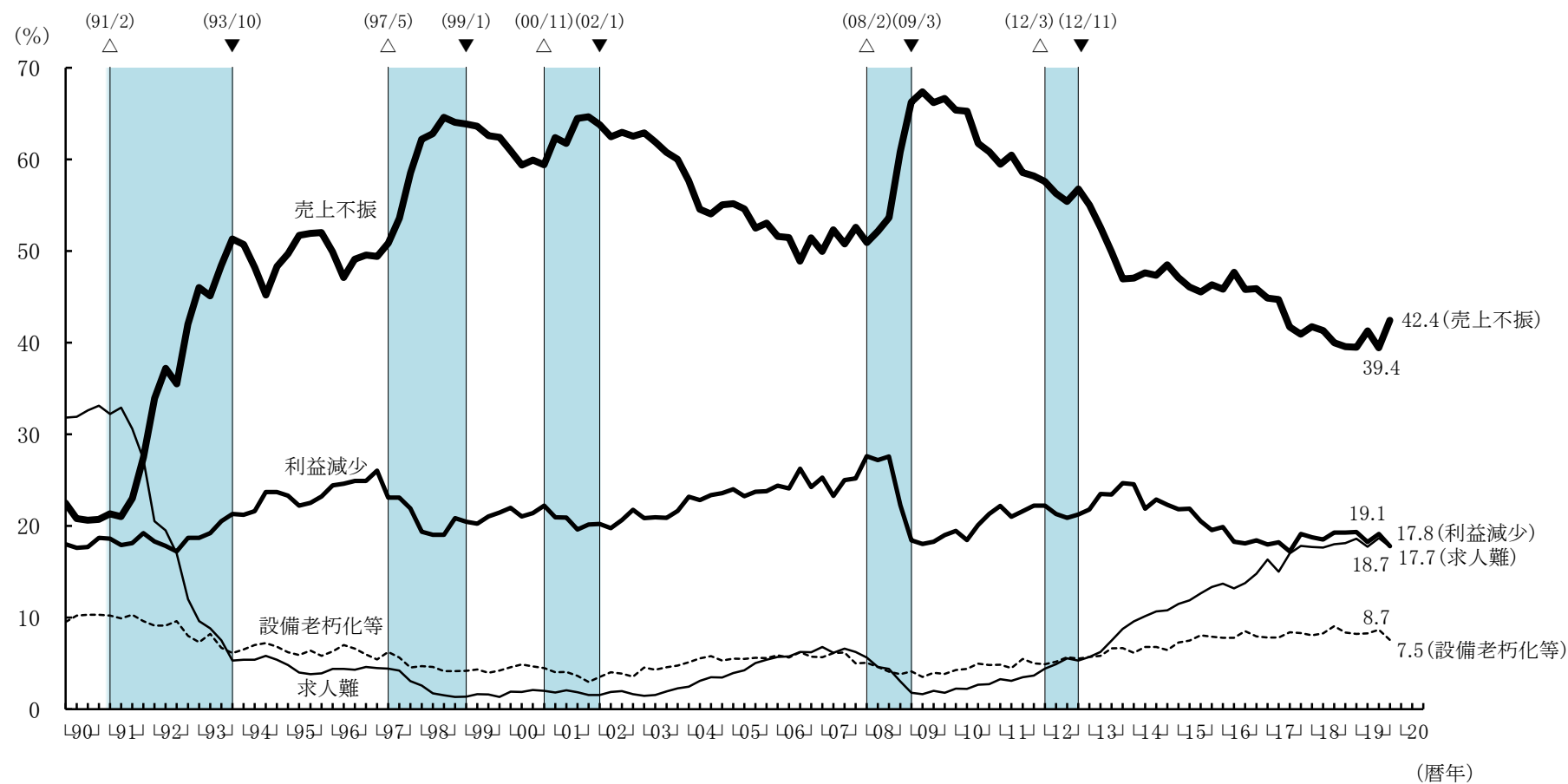


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が42.4%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（17.8%）、「求人難」（17.7%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

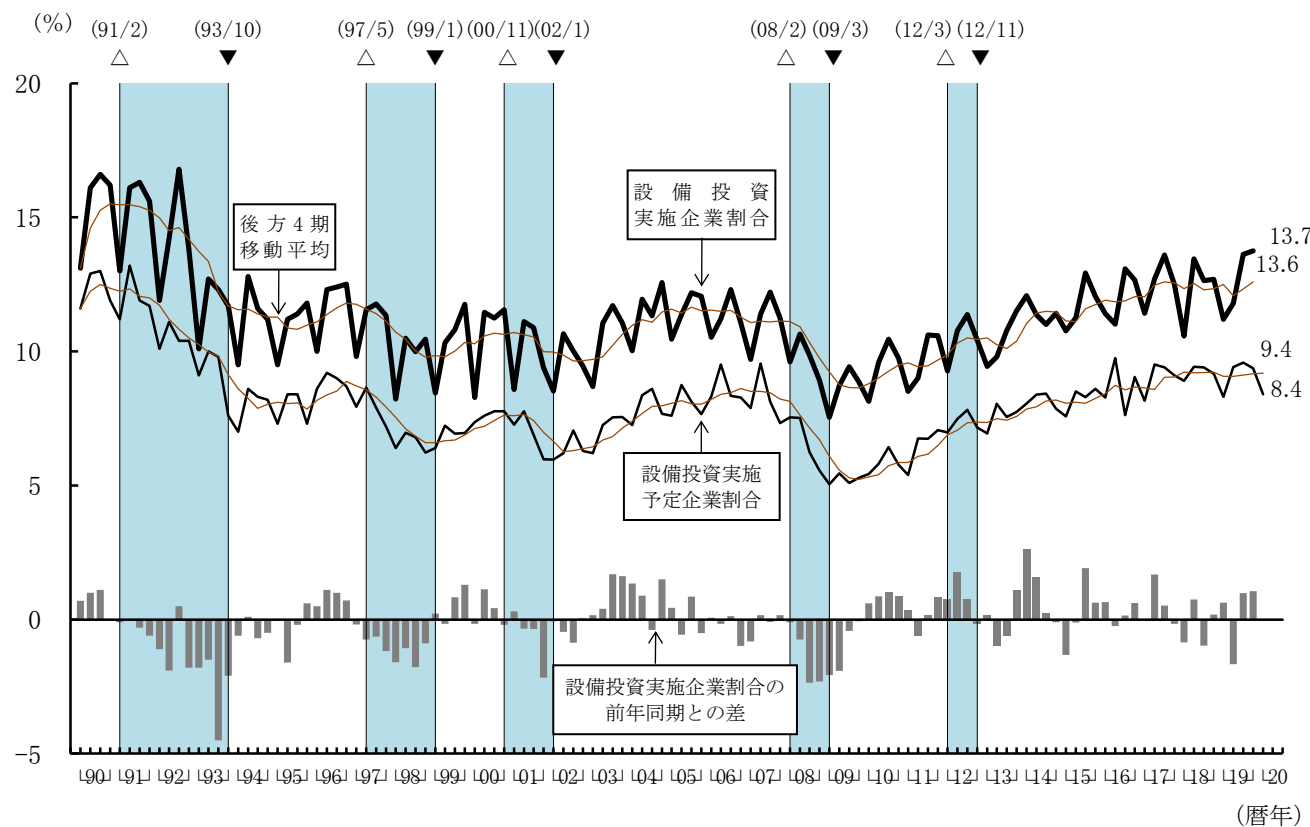


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

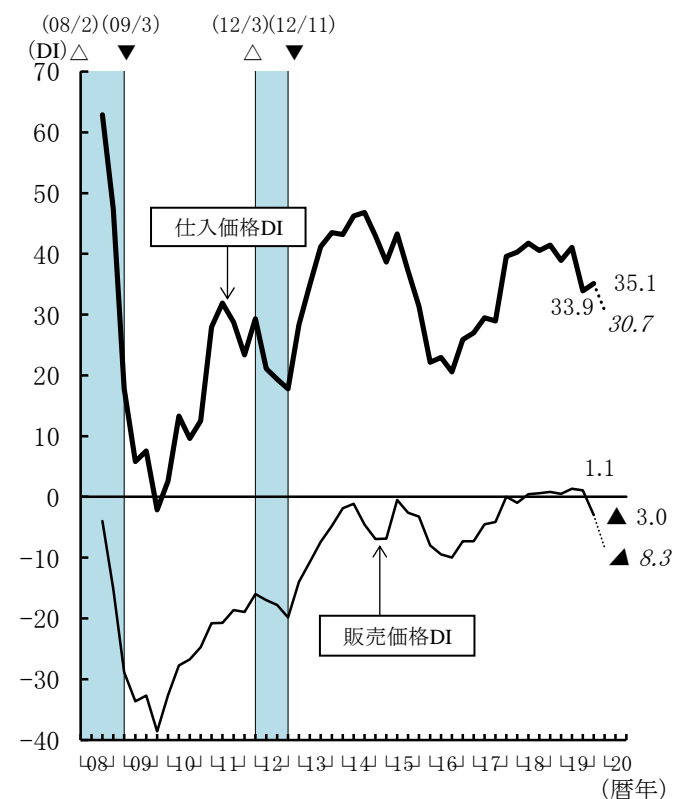
## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期からほぼ横ばいの13.7%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、4.1ポイント低下し、▲3.0となった。来期も低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、1.2ポイント上昇し、35.1となった。来期は低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2019年10－12月期実績、2020年1－3月期および4－6月期見通し)

中小企業の景況は、足元で弱さがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2019年12月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上） 12,937社
有 効 回 答 数	5,663 社 [回答率 43.8 %]

### <業 種 構 成>

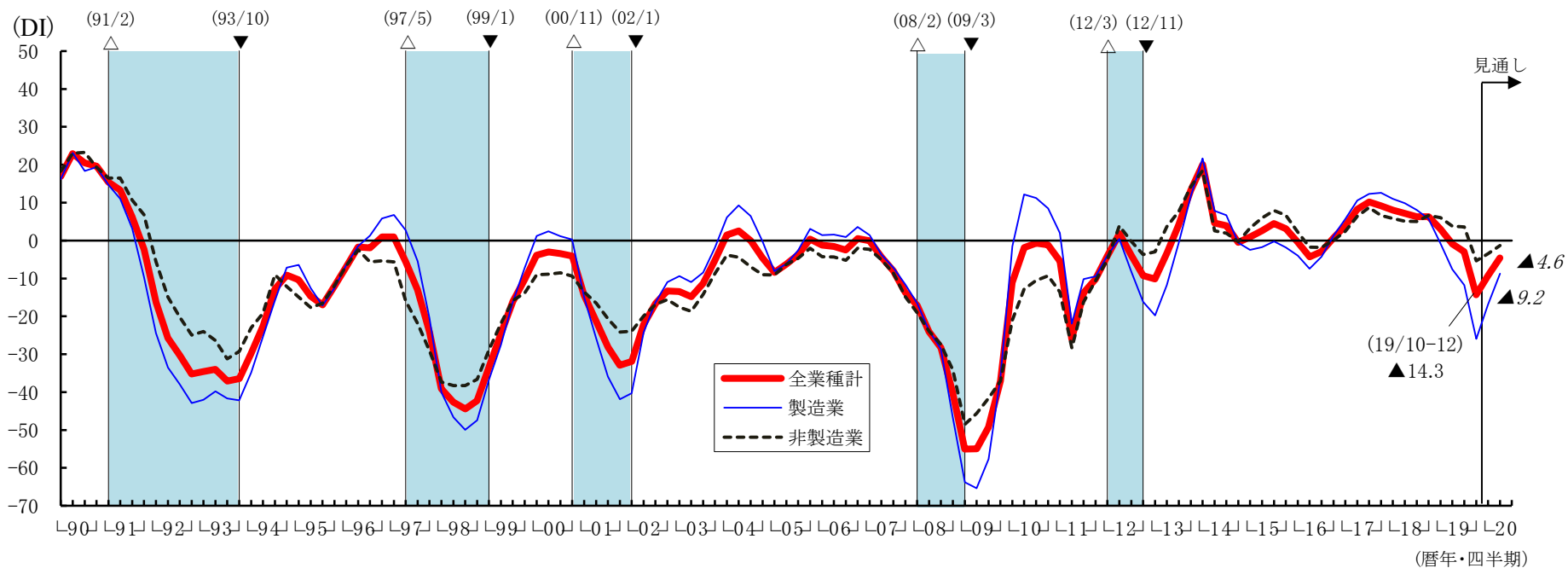
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	5,244 社	2,457 社	(構成比	43.4 %)
鉱 業	17 社	11 社	( 同	0.2 %)
建 設 業	1,058 社	502 社	( 同	8.9 %)
運送業(除水運)	777 社	358 社	( 同	6.3 %)
水 運 業	173 社	78 社	( 同	1.4 %)
倉 庫 業	69 社	41 社	( 同	0.7 %)
情 報 通 信 業	288 社	111 社	( 同	2.0 %)
ガ ス 供 給 業	13 社	8 社	( 同	0.1 %)
不 動 産 業	836 社	307 社	( 同	5.4 %)
宿泊・飲食サービス業	493 社	160 社	( 同	2.8 %)
卸 売 業	1,725 社	751 社	( 同	13.3 %)
小 売 業	931 社	347 社	( 同	6.1 %)
サ ー ビ ス 業	1,313 社	532 社	( 同	9.4 %)

# 1 業況判断

- 今期（2019年10－12月期）の業況判断DIは、前期（2019年7－9月期）からマイナス幅が11.4ポイント拡大し、▲14.3となった。
- 来期（2020年1－3月期）は▲9.2、来々期（2020年4－6月期）は▲4.6にマイナス幅が縮小する見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

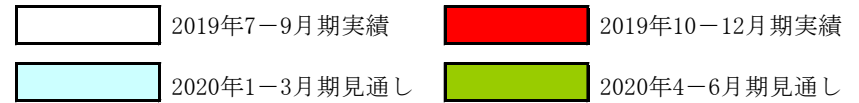
	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12 (前回見通し)	2020/1-3 (前回見通し)	2020/4-6
業況判断DI (季節調整値)	6.3	3.1	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 14.3 (▲ 7.8)	▲ 9.2 (▲ 4.8)	▲ 4.6
製 造 業	5.8	▲ 0.8	▲ 7.6	▲ 11.7	▲ 25.9 (▲ 14.5)	▲ 16.9 (▲ 8.4)	▲ 8.7
非 製 造 業	6.6	6.0	3.8	3.6	▲ 5.4 (▲ 3.1)	▲ 3.5 (▲ 2.1)	▲ 1.3



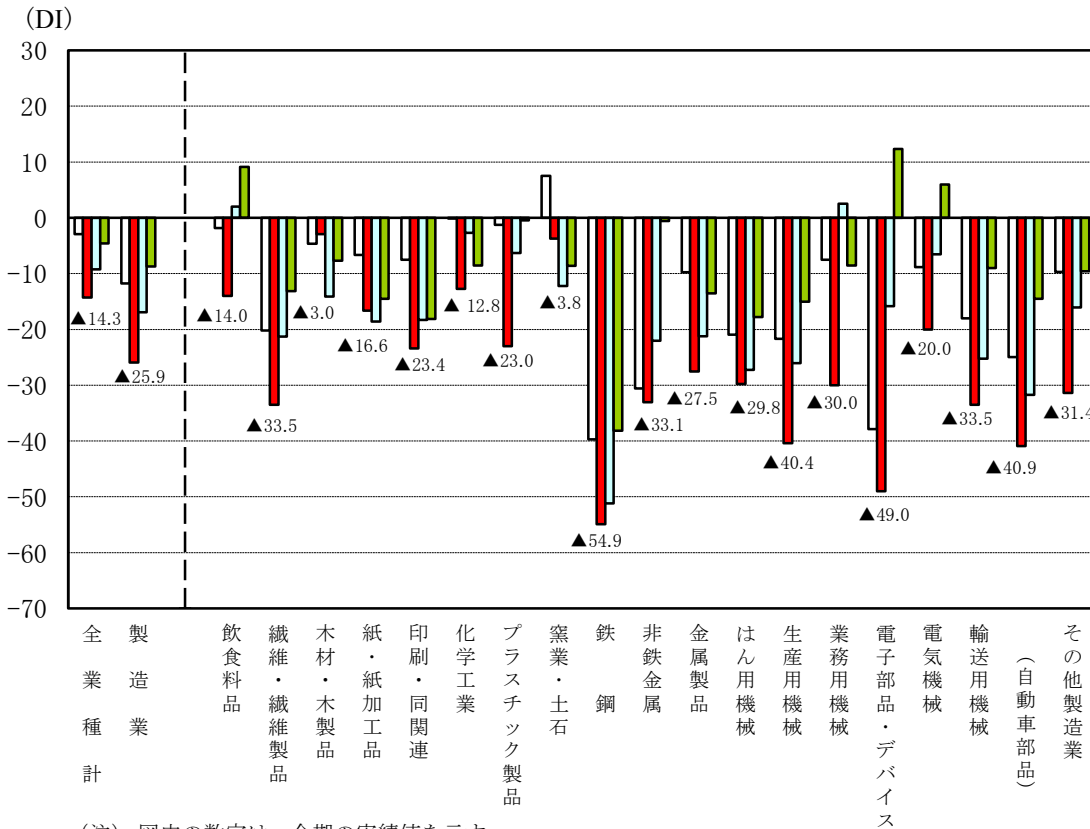
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、木材・木製品が上昇した。一方、鉄鋼、生産用機械、電子部品・デバイス等が低下した。
- 非製造業は、情報通信業、不動産業が上昇した。一方、宿泊・飲食サービス業、卸売業、小売業等が低下した。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

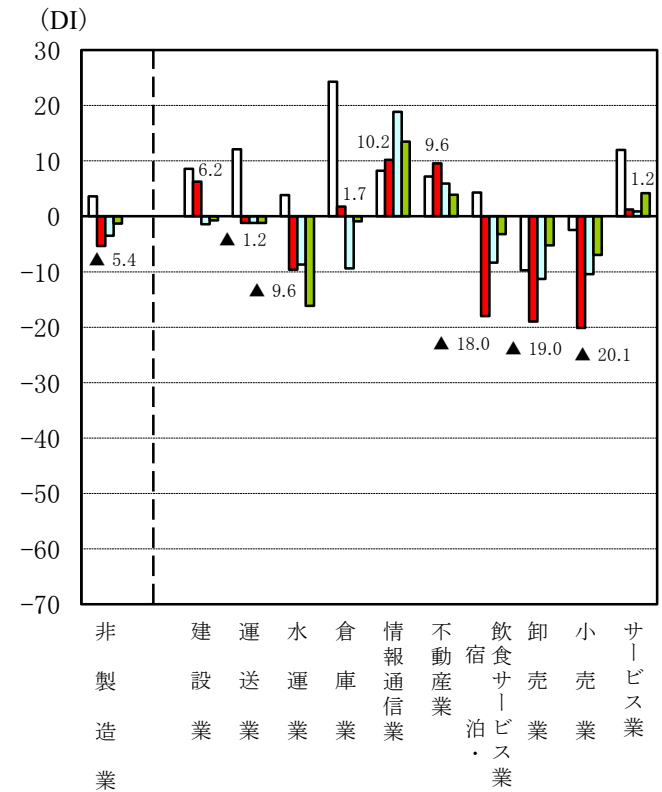


－製造業－



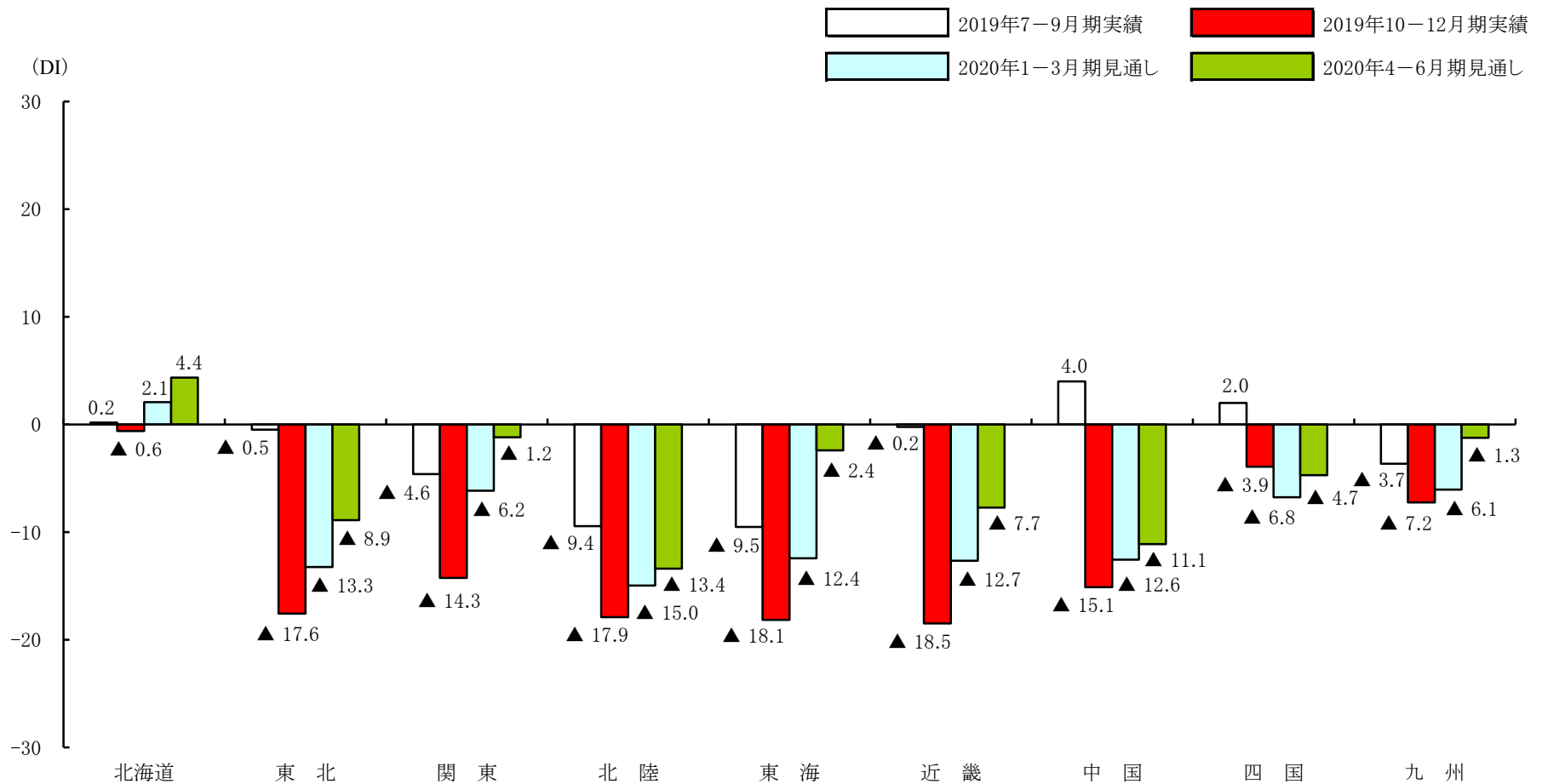
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－



- 業況判断DIを地域別にみると、今期はすべての地域で低下した。
- 来期は、北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、九州の8地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

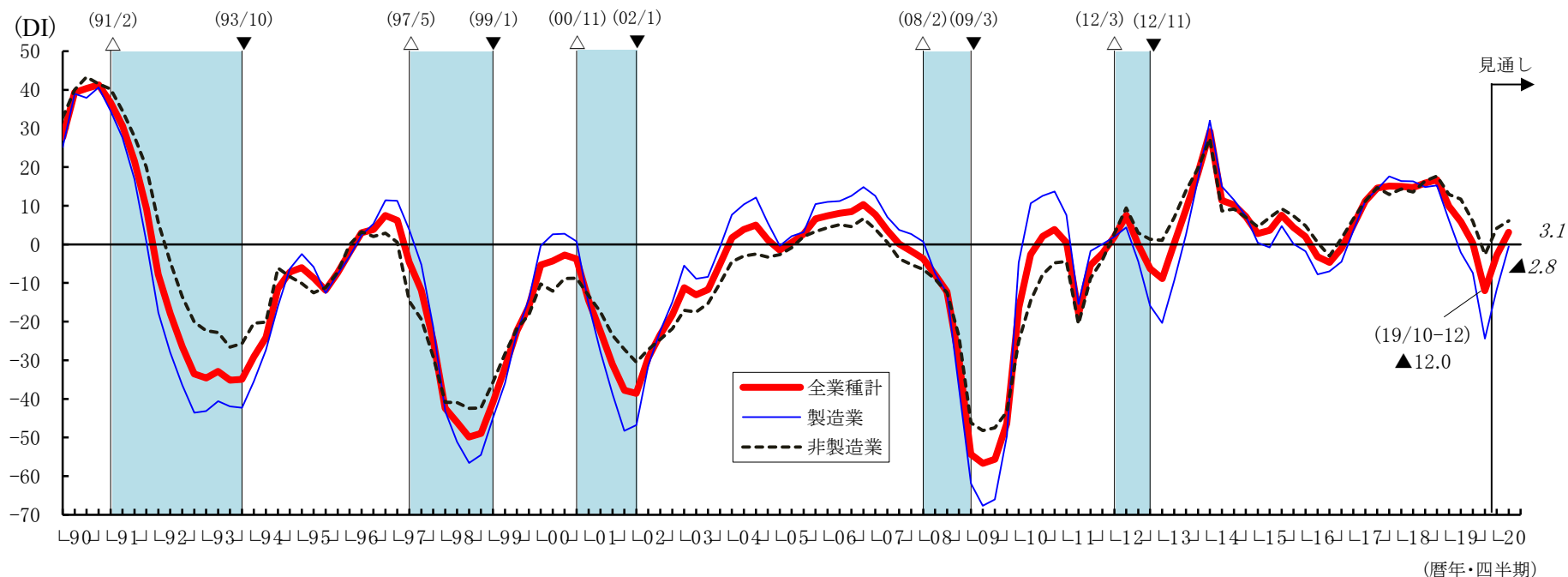


## 2 売 上

- 今期の売上DIは、前期から12.4ポイント低下し、▲12.0となった。
- 来期は▲2.8、来々期は3.1に上昇する見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12 (前回見通し)	2020/1-3 (前回見通し)	2020/4-6
売上DI (季節調整値)	16.7	9.9	5.8	0.4	▲ 12.0 (▲ 0.8)	▲ 2.8 ( 1.7)	3.1
製 造 業	15.2	6.2	▲ 2.1	▲ 7.4	▲ 24.4 (▲ 7.3)	▲ 11.7 (▲ 3.3)	▲ 0.5
非 製 造 業	17.6	12.9	11.7	5.9	▲ 2.7 ( 4.0)	4.2 ( 5.1)	6.1



(注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。

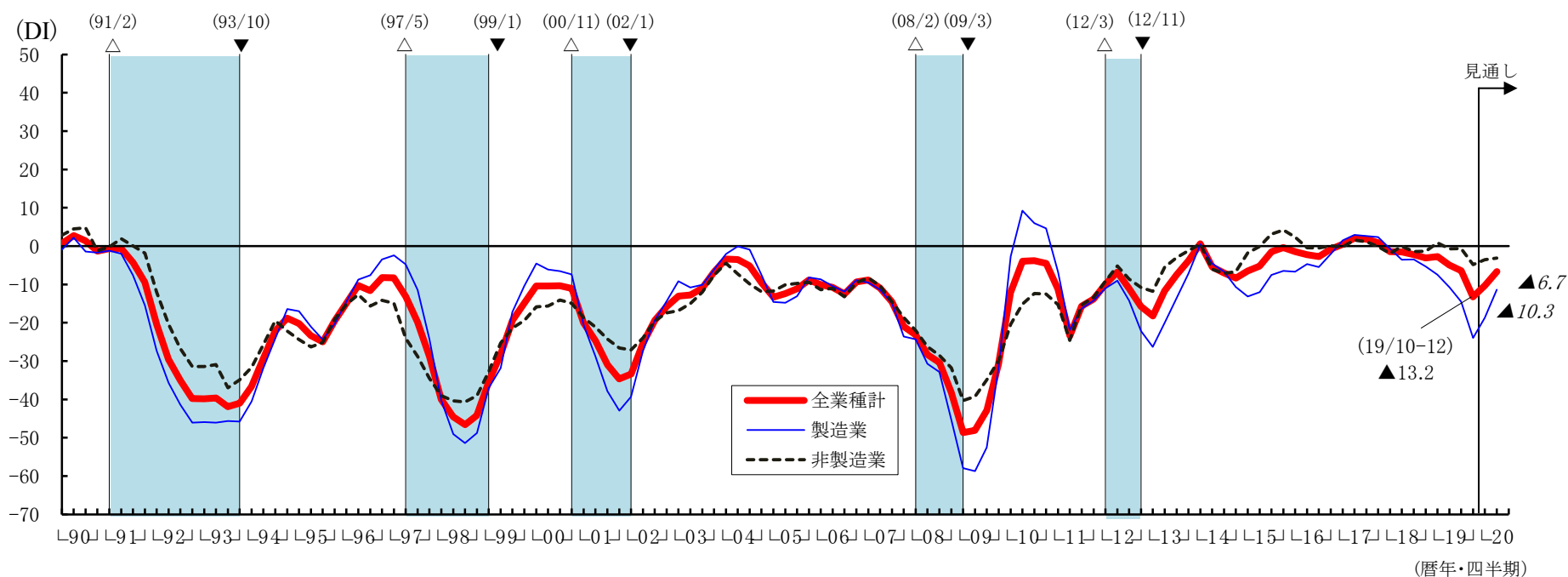
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が6.8ポイント拡大し、▲13.2となった。
- 来期は▲10.3、来々期は▲6.7にマイナス幅が縮小する見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12 (前回見通し)	2020/1-3 (前回見通し)	2020/4-6
純益率DI (季節調整値)	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 4.9	▲ 6.4	▲ 13.2 (▲ 9.6)	▲ 10.3 (▲ 7.6)	▲ 6.7
製 造 業	▲ 5.3	▲ 7.4	▲ 10.7	▲ 14.5	▲ 24.0 (▲ 16.4)	▲ 18.7 (▲ 12.1)	▲ 11.4
非 製 造 業	▲ 1.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 4.9 (▲ 4.7)	▲ 3.5 (▲ 4.3)	▲ 3.1



(注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。

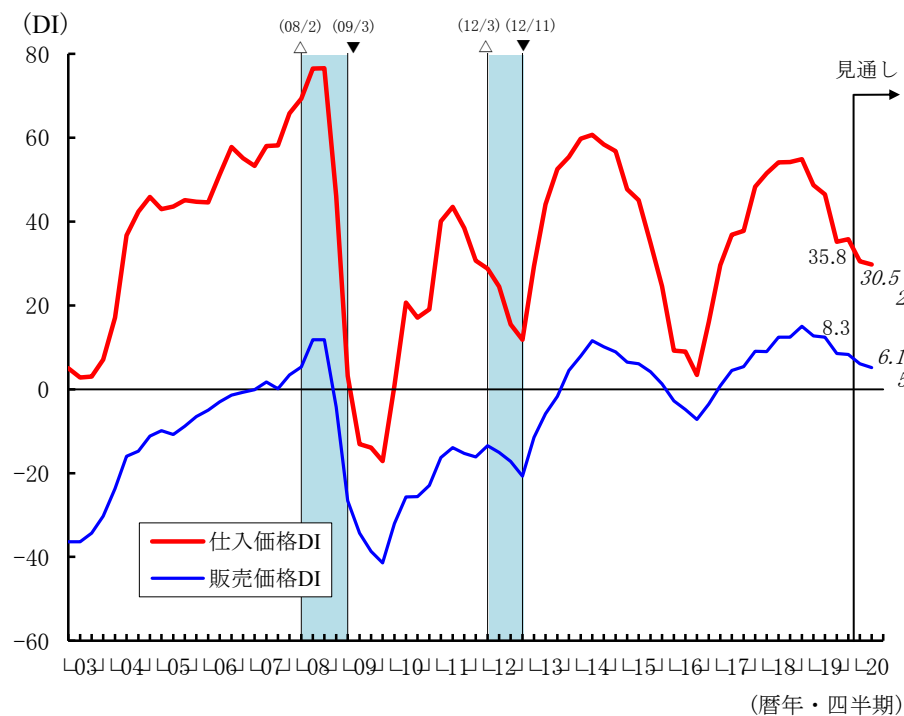
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から0.2ポイント低下し、8.3となった。仕入価格DIは前期から0.6ポイント上昇し、35.8となった。来期は販売価格DI、仕入価格DIともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDI、長期借入難易DI、短期借入難易DIは低下した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

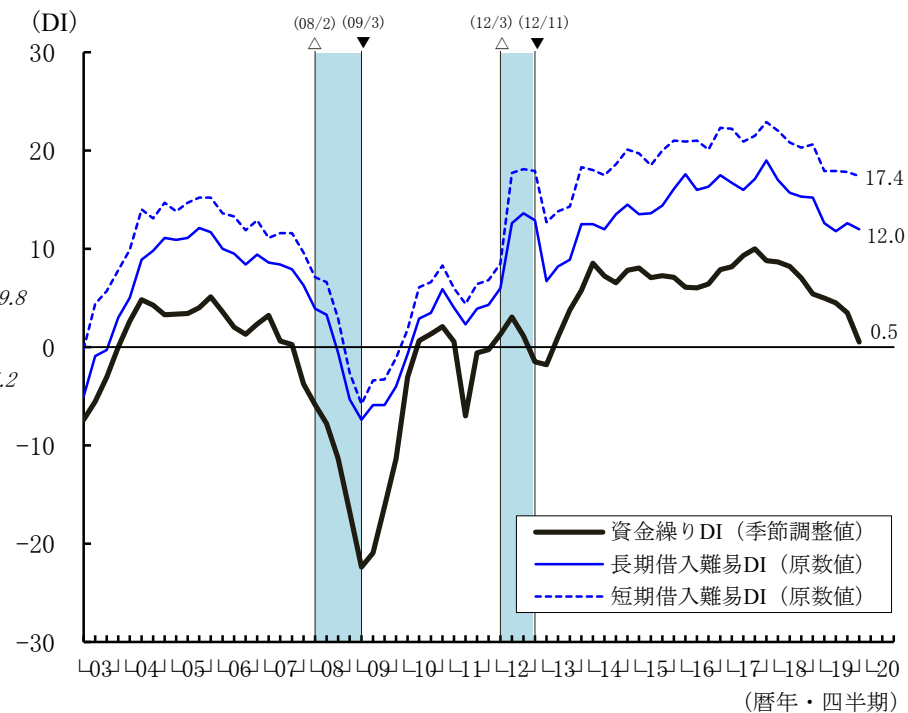
	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6
販売価格DI	15.0	12.7	12.4	8.5	8.3	6.1	5.2
仕入価格DI	54.9	48.7	46.5	35.2	35.8	30.5	29.8



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12
資金繰りDI（季節調整値）	5.4	5.0	4.5	3.5	0.5
長期借入難易DI（原数値）	15.2	12.6	11.8	12.6	12.0
短期借入難易DI（原数値）	20.6	17.9	17.9	17.8	17.4



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

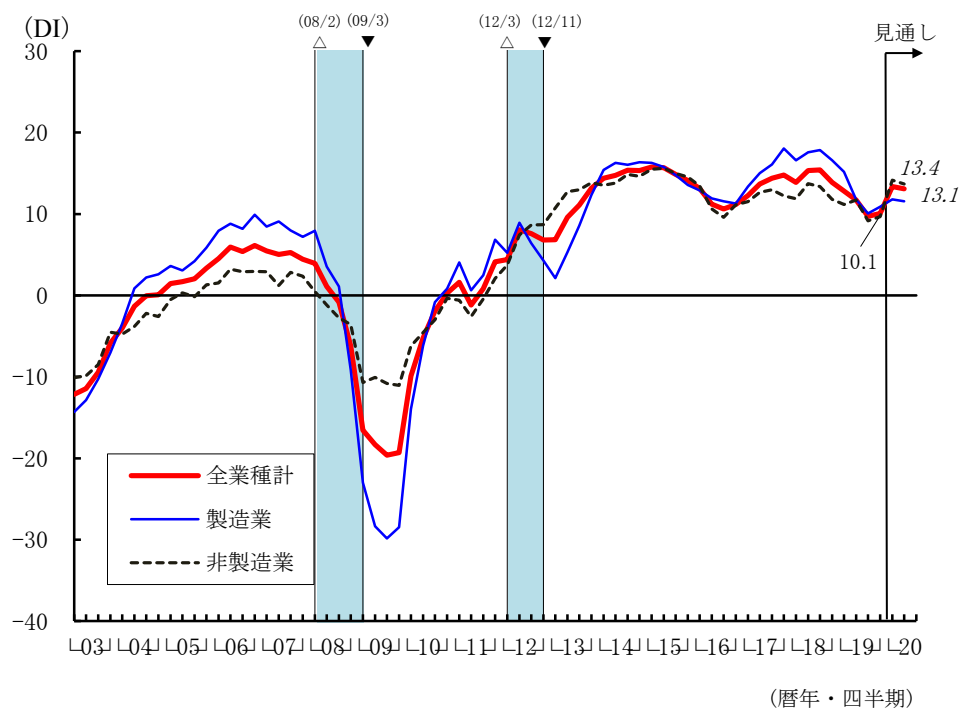


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から0.4ポイント上昇し、10.1となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から1.0ポイント低下し、39.8%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

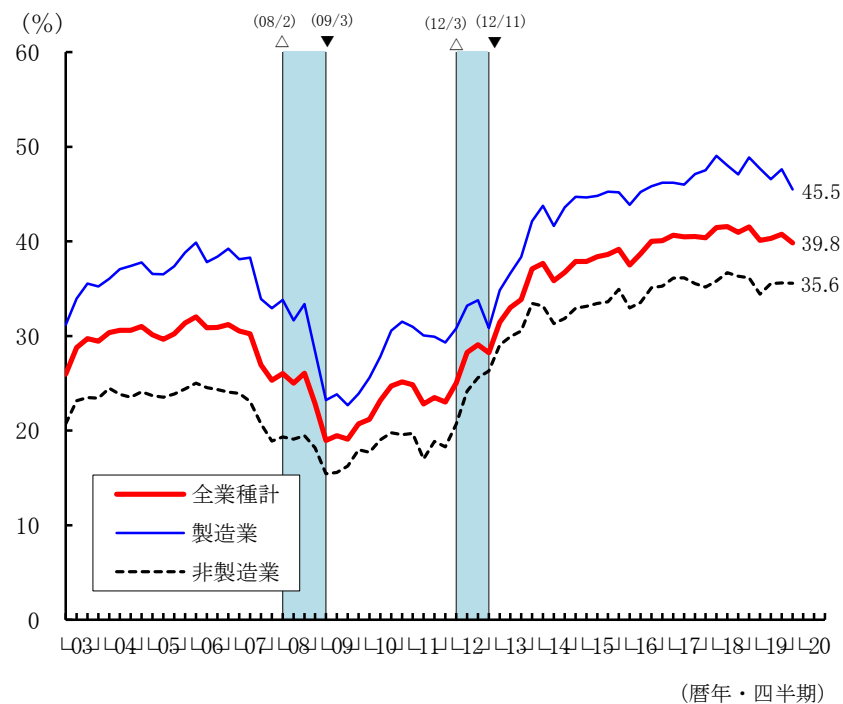
	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6
全業種計	13.9	12.8	11.7	9.7	10.1	13.4	13.1
製造業	16.6	15.2	11.8	10.0	10.9	11.8	11.6
非製造業	11.8	11.2	11.7	9.2	9.7	14.1	13.7



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2018/10-12	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12
全業種計	41.5	40.1	40.3	40.8	39.8
製造業	48.9	47.7	46.6	47.6	45.5
非製造業	36.2	34.4	35.5	35.6	35.6



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が37.3%と最も多く、次いで、「求人難」(28.9%)、「人件費や支払利息等の増加」(7.0%)となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は2.7ポイント上昇し、「求人難」は3.1ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

